

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年3月28日(2022.3.28)

【公開番号】特開2021-108861(P2021-108861A)
 【公開日】令和3年8月2日(2021.8.2)
 【年通号数】公開・登録公報2021-034
 【出願番号】特願2020-1911(P2020-1911)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年3月17日(2022.3.17)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演出態様が実施可能な演出手段において、

前記演出手段は、

第1の可動体と第2の可動体と、

前記演出手段の制御を行う制御手段と、

を備え、

前記第1の可動体は、

特定の演出を実施可能であり、

第1の位置と第2の位置との間でスライド移動自在に構成され、

前記特定の演出の実施契機となる特定の位置の検出に関する構造を備え、

前記制御手段は、

前記第1の可動体が前記第1の位置にて位置を保持した状態で、前記第1の可動体が作動可能かつ前記第2の可動体が作動可能とすることで前記特定の演出を含む第1の演出態様を実施可能にし、

前記第1の可動体が前記第2の位置にて位置を保持した状態で、前記第1の可動体が作動可能かつ前記第2の可動体が作動可能とすることで前記特定の演出を含む第2の演出態様を実施可能とし、

前記第2の可動体の作動状態の切り替えをおこなう切り替え制御を実施可能とし、

前記作動状態の切り替えは前記特定の位置に関する検出を契機に実施可能であることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

特許文献1には、回転動作を行うことで所定の可動演出を行う可動演出役物を備えた遊技機が開示されている。

【手続補正3】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2016-59498号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような遊技機において、遊技の興趣をさらに向上させることが望まれている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上述した課題に鑑みてなされたものであり、遊技の興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、演出態様が実施可能な演出手段において、前記演出手段は、第1の可動体と第2の可動体と、前記演出手段の制御を行う制御手段と、を備え、前記第1の可動体は、特定の演出を実施可能であり、第1の位置と第2の位置との間でスライド移動自在に構成され、前記特定の演出の実施契機となる特定の位置の検出に関する構造を備え、前記制御手段は、前記第1の可動体が前記第1の位置にて位置を保持した状態で、前記第1の可動体が作動可能かつ前記第2の可動体が作動可能とすることで前記特定の演出を含む第1の演出態様を実施可能にし、前記第1の可動体が前記第2の位置にて位置を保持した状態で、前記第1の可動体が作動可能かつ前記第2の可動体が作動可能とすることで前記特定の演出を含む第2の演出態様を実施可能とし、前記第2の可動体の作動状態の切り替えをおこなう切り替え制御を実施可能とし、前記作動状態の切り替えは前記特定の位置に関する検出を契機に実施可能であることを特徴としている。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、遊技の興趣を向上させることができる。

10

20

30

40

50